

# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市清水南小学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

家庭・地域・学校協議会	清水南公民館長 (1名)
	自治会連合会長 (1名)
	PTA 役員 (2名)
	青少年育成市民会議支部長 (1名)
	地区交通安全推進協議会長 (1名)
	地域コーディネーター (3名) (公民館主事・民生委員・前自治会長)
	学校関係者 (3名)

### (2) 協議会の内容

- ①開催予定回数  
年3回 開催予定
- ②開催日程予定  
6月 今後の運営計画・授業参観  
11月 教育ウィーク授業活動参観  
3月 年度末の反省、外部評価
- ③協議内容  
・家庭・地域・学校の連携強化について  
・児童の安全に関することについて  
・体験活動での地域との連携について

### (3) 協議会における成果と課題

学校開放日には、保護者だけでなく、地域の方々や家庭・地域・学校協議会の方々に学校に来ていただいて、学校が取り組んでいる事への理解を深めてもらい、学校への支援や協力を得た。児童と地域の方々とのふれ合いを、より推進した。公民館と積極的に連携を図った。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域の自然や文化、人との関わりを通して、児童が地域の良さを発見したり課題を見つけて解決したりしようとする活動を行うことで、ふるさと清水南地区に誇りと愛着をもつ児童を育成する。

### (2) 活動の実際

今年度は、「一昨年度調べた『自分たちの住む清水南地区のよさ』、昨年度作成した『清水南の宝』の歌をさらに校外に発信したい。」という6年生の子供たちから出てきた思いをもとに、活動がスタートした。

#### ① 清水南の大豆を学ぶ：3・5・6年生

清水南地区で盛んに作られている大豆をテーマに活動を展開した。3年生は総合の学習で地区の生産組合の方に教えてもらいながら種まき、草取り、収穫を行った。収穫したての大豆を枝豆にして食べた。さらに大豆キャラメル作りに挑戦した。また、収穫した大豆で5年生と3年生が協力して豆腐づくりを行った。5年生は自分たちが昨年仕込んだ味噌を使って、家庭科で味噌汁を作った。6年生は地元でとれた大豆を利用した大豆コロケのスペシャルメニューで、調理実習に取り組んだ。

#### ② 清水南のお宝発信2

##### (ア) 【公民館祭りでの発表】

6年生が『清水南広め隊』として、4地区の遺跡や歴史を紹介し、昨年度作成した歌「清水南の宝」を会場の地区の皆さんと歌った。



(様式3)

(イ) 【学習発表会での発表】

学習発表会では、6か所の遺跡や名所を選択し、考えたクイズラリーのコースやそのポイントの紹介、そして自分たちが考えレベル分けしたクイズを保護者に紹介した。今後実施するクイズラリーでのアドバイスを保護者の方や友達から受けて、本番に臨んだ。



(ウ) 【クイズラリー：全学年】

11月19日に、全学年で清水南地区のお宝をめぐるクイズラリーを開催した。6つのたてわり班に分かれ、5・6年生が考えたクイズに答えながら、南地区の歴史的なスポットを歩いて巡った。自分たちでラリー地点やコース決め、クイズ作りを全部高学年の仲間で企画し準備した。

(エ) 【清水南広め隊：ふるさと教育フェスタ】

6年生は今まで調べてこと、昨年度作成した清水南のよさをアピールするポスター、さらにシング・ジェイ・ロイさんと一緒に作った「清水南の宝」の歌を歌って、アオッサの県民ホールでふるさと教育フェスタに参加し、地域のアピールと歌を披露した。

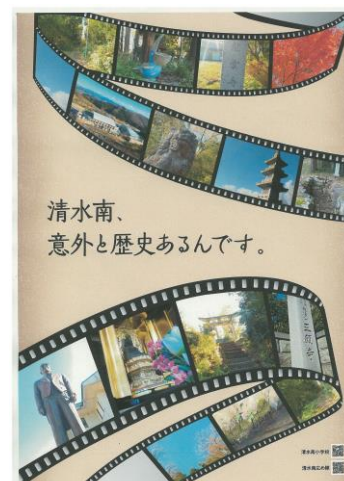


(3) 地域コーディネーターの活動概要

子どもたちが発案した活動の実現に向けて、地区の情報の提供、協力者のコーディネートなどをしていただいた。

(4) 特に工夫した事項

6年生の考えを大切に、より自分たちの活動になるように、時間をとって話し合いを何度も重ねてきた。学校生活の中でも、グループのリーダーとして積極的な自治活動を行うこともできるようになっている。



(5) 成果と課題

子どもたち主体の活動を展開することができた。特に、6年生はすべての活動の中心となり、企画・運営をすることで大きく成長することができた。学校生活の中でも、積極的な自治活動を行うこともできるようになっている。また、発信の場として設定した「公民館祭り」は、例年に比べ祭りの人の集まりもよく、地区の人たちからも大変好評であった。「福井ふるさと教育フェスタ」には様々な地域の小学校や伝統芸能の人たちが参加しており、小規模校の学校ではできない貴重な体験をすることができた。

来年度への課題として、この3年間の歩みをどのように引き継いでいくかが挙げられる。現6年生は「これからも南地区のすばらしさをみんなに伝えていきたいです。」といってくれているので、今後もアイデアを出し、しっかりと自分たちの活動として、取り組んでいけるような活動を展開していきたい。